

大関へ 貴景勝

兵庫出身、39年ぶり

27日に正式決定

大相撲の東関脇、芦屋市出身の貴景勝（22）＝本名佐藤貴信、千賀ノ浦部屋＝の大関昇進が24日、確実にになった。大阪市のエディオンアリーナ大阪で行われた春場所千秋楽で大関栃ノ心を破って2桁の10勝目を挙げた。兵庫県出身力士の大関誕生（昭和以降）は1980年に昇進し

た増位山（姫路市出身）以来39年ぶり、史上4人目。

貴景勝は昨年11月の九州場所では13勝を挙げて初優勝し、新関脇で臨んだ今年1月の初場所では11勝4敗。大関昇進の目安となる3場所合計33勝を上回った。

昇進問題を預かる日本相撲協会審判部が千秋楽後、八角理事長（元横綱北勝海）に昇進を審議する臨時理事会開催を要請し、了承された。27日に開かれる夏場所番付編成会議と臨時理事会で「大関貴景勝」が正式に誕生する。

芦屋市出身の貴景勝は仁川学院小（西宮市）3年から本格的に相撲を始め、報徳学園中（同）、3年時には全国中学校体育大会を制して「中学横綱」に輝いた。

埼玉栄高を経て2014年に貴乃花部屋（当時）に入門し、突き、押しを武器にスピード出世した。



貴景勝